



外国出張報告書

平成 27年 7月 31日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 27年 6月～7月
3. 出張目的 「アフリカ稲作振興」プロにおける現地栽培試験：B

4. 成果の概要

氾濫低湿地のイネの発芽・出芽・苗立ちの安定化と生育の向上のための阻害要因の解明を行うために、ガーナ共和国の氾濫条件を異にする現地圃場において播種前種子処理（プライミング処理）がイネ2品種の出芽に及ぼす影響を測定した（試験1）。本年度は雨期初期の降雨が少なかった。そのため、品種およびプライミング処理の有無に関わらず、例年に比べて播種後に出芽が始まるのは著しく遅れた。プライミング処理の効果は出芽の開始が観察された1日後の出芽率で1品種にのみ見られた。また、試験1の圃場より採取した土壌を用い、土壌含水率を変えて、プライミング処理の出芽への影響を28品種で比較した結果も、プライミング処理の効果には品種間で大きな違いがあり、品種によってプライミング処理するか否かを判断すべきであることがわかった。